

- このたびは、お買上げいただき、まことにありがとうございます。
- ご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよく読みいただき、正しくご使用ください。
- お読みになったあとは、「保証書」とともに大切に保管していただき、取扱いが不明な場合や、不具合が生じたときにお役立てください。

マイナス
イオン

液 晶
リモコン

おやすみ
タイマー

INDEX

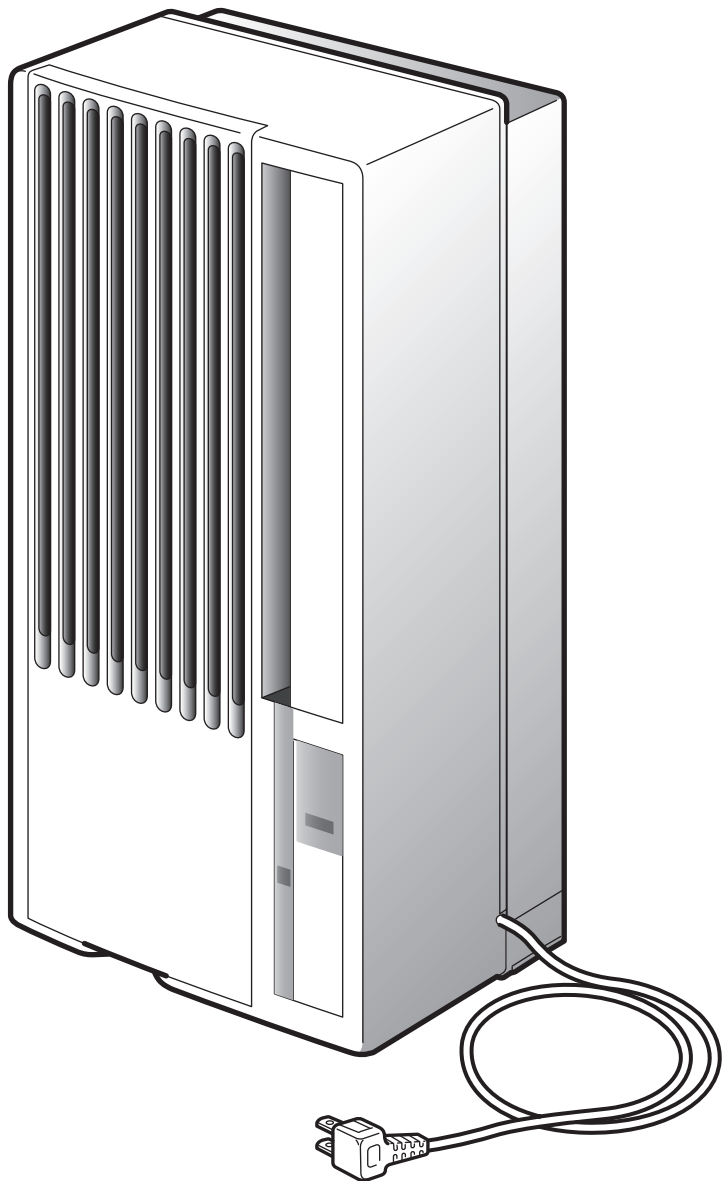
安全上のご注意	1～3
取り付けについてのご注意	4
設置について	5
知っておいていただきたいこと	6
運転前の準備	7・8
各部のなまえ	9～12
使いかた	13～16
上手にお使いいただくために	16
お手入れについて	17・18
故障かな？と思ったら	19
長期使用製品安全表示制度に 基づく本体表示について	20
仕様	21
保証とアフターサービス	22
別売部品	裏表紙

- この製品は日本国内用に設計されていますので、日本国外では使用できません。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

取扱説明書

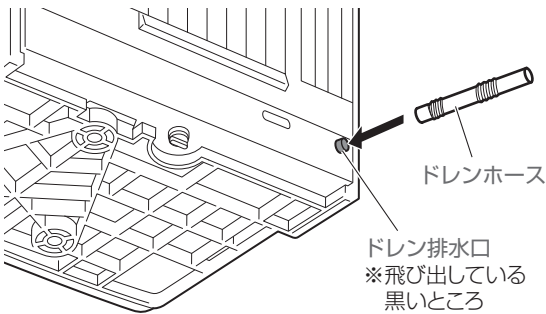
ルームエアコン(ウインド型)

品番 JA-16V/JA-18V



ドレンホースの取付け

このエアコンは冷房運転時のドレン(除湿)水を内部で蒸発させ機外に出さない構造になっておりますので排水処理の必要はありませんが、特に湿度が高い場合(80%以上)にドレン水が背面のドレン排水口から室外にあふれる場合がありますので、設置時には必ず、背面のドレン排水口に付属のドレンホースを取り付けてください。



■ご注意

下記の場合には、室内に水漏れが発生する可能性がありますので、ご注意ください。

- ドレンホースは、ドレン排水口の根元までさし込んでご使用ください。
- エアコン本体を取付枠に取り付けたあと、ドレンホースは必ず先下がりの勾配になるようにしてください。また、先端が水につからないようにしてください。同時に、取付け枠自体が前側(室内側)に傾いていないことをご確認ください。
- 窓を閉める際には、必ずドレンホースを窓の室内側サッシ部に入れてください。
- 室外の風の影響で、ドレン水が室内側に吹き込むことがありますのでご注意ください。
- 木製窓へ本体を取付けた際には、ドレン水が木製窓にかからないようにドレンホースを設置ください。

戸締まりについて

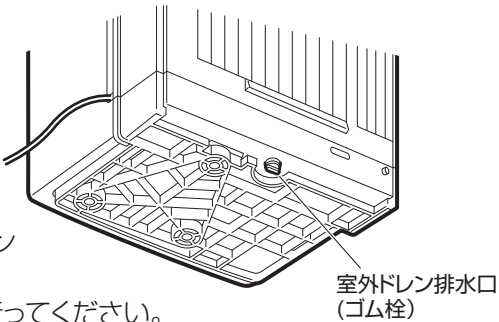
台風や暴風雨のとき、また長時間外出するときなどは、エアコンの運転を停止し、「戸締まり時手順」の順序で必ず戸閉めを行ってください。

移設時・シーズン後の排水について

移設時やシーズン後エアコンを取り外すときは、エアコン内部にたまったドレン水を室外ドレン排水口から排水してください。

- 排水手順
- 1.水受け容器を準備します。
 - 2.エアコン本体底面にあるゴム栓を外し排水します。
 - 3.排水が完了したらゴム栓を確実に取り付けてください。

- 本体を取付枠から取り外す際には、必ず本体を取り外す前に、エアコン本体の室外ドレン排水口から完全に水を抜き取ってください。
- 移設などで取付枠を窓から取り外すときは、取り付けの逆の手順で行ってください。
- エアコン本体を取り外すときは、しっかりと押さえてください。

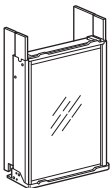


別売部品

ご要望の際は、お買い上げの販売店にご相談ください。 ※価格は改定されることがあります。

■長窓用延長枠

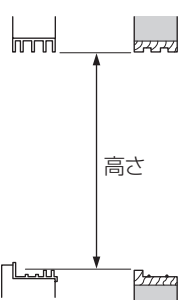
窓用ルームエアコンをテラス窓や長窓に取り付けるためのアタッチメントです。高さが1410～2005mmまでの窓に取り付けることができます。製品同梱の標準枠に右図のようにセットしてご使用ください。
※延長枠単体ではご使用できません。



品番：JA-E16D
JANコード：4562117087900
メーカー希望小売価格：6,000円(税抜)
取付可能な窓寸法：1410～2005mm

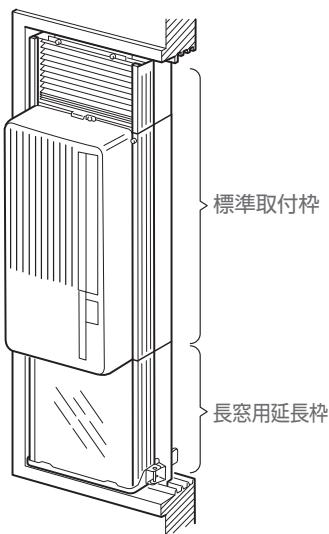
■標準取付枠

高さが777～1410mmまでの窓に取り付けることができます。製品に同梱していますが、別購入もできます。



品番：JA-H16D
JANコード：4562117087917
メーカー希望小売価格：10,000円(税抜)
取付可能な窓寸法：777～1410mm

取付完成図(左側取付例)



安全上のご注意

※ご使用になる前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
※お読みになったあとは、次にお使いになる場合にすぐ見られるところへ大切に保管してください。

●このルームエアコンは、窓枠に取り付け、室内に冷風を吹き出して室内を冷房または、除湿することを目的とするものですので、これ以外のご使用は絶対しないでください。この用途以外でのご使用で発生した故障・修理・事故その他の不具合については、責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

表示について

ここに表示している『安全上のご注意』は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。

『警告』『注意』の2つに大別してお知らせしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

取り扱いを誤ると死亡、または重傷などを負う可能性が想定される内容を表示。



注意

取り扱いを誤ると傷害を負う可能性、または物的損害のみが発生すると想定される内容を表示。

表示の例

お守りいただく内容の種類を、絵記号で区分し説明しています。下記はその一例です。



△記号は、「警告や注意を促す」内容のものです。図の中や近くに具体的な注意内容(左図の場合は感電注意)を示します。



○記号は、してはいけない「禁止」内容のものです。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)を示します。



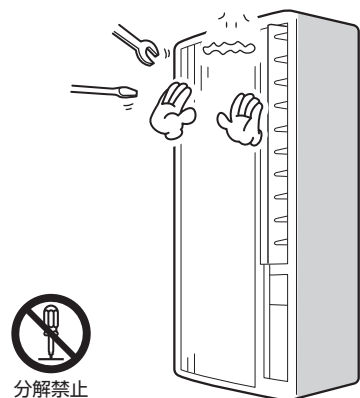
●記号は、必ず実行していただく「強制」内容のものです。図の中や近くに具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く)を示します。



警告

改造は絶対しない。また、修理技術者以外の方が分解したり修理しない。

- 火災・感電・ケガの原因になります。
修理はお買い上げの販売店または、お客さま修理ご相談窓口にご相談ください。



分解禁止

コンセントの差し込みがゆるいときは、使用しない。また、電源プラグとコンセントの間にホコリや金属や水分を付着させない。

- 感電・ショート・発火の原因になります。



禁止



電源プラグは、根元まで確実に差し込む

- 接触不良による感電・火災の原因になります。



根元まで確実に



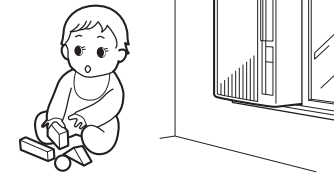
警告

乳幼児やお子様、お年寄り、身体の不自由な方、病気の方などがお使いになる場合は、周囲の方が常に注意する。

- 体調悪化・健康障害の原因になります。



指示



電源コードは束ねたり、引っ張ったり、重いものを載せたり、加熱したり、加工したりしない。

- 電源コードが破損する原因になります。
- 傷んだまま使用すると感電・火災の原因になります。



禁止

異常時(煙・においなど)は、運転を中止して電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または、お客さまご相談窓口にご相談ください

- 異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。



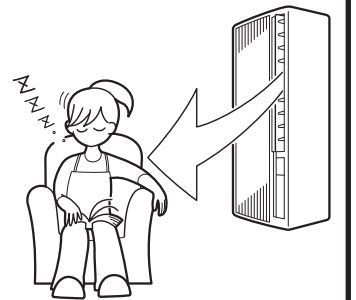
指示

長時間冷風に直接あてたり、冷やしすぎないようにする。

- 体調悪化・健康障害の原因になります。



指示

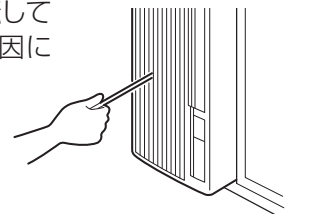


吹出口・吸入口に、指や棒などを入れない。

- 内部でファンが高速回転しておりますので、ケガの原因になります。



禁止

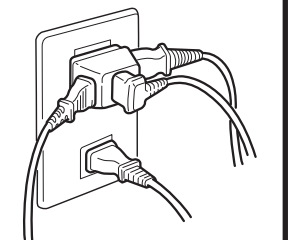


電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用や他の電気器具とのタコ足配線はしない。

- 感電や発熱・火災の原因になります。



コンセントを単独で



注意

ぬれた手で操作部を操作しない。

- 感電の原因になります。



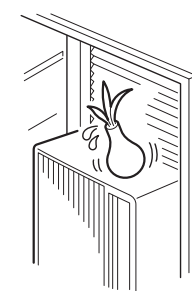
禁止

エアコンを水洗いしたり、花瓶など水の入った容器を載せない。

- 室内に浸水して、家財などを濡らす原因になることがあります。



水かけ禁止



燃焼器具と一緒に運転するときは、こまめに換気する。

- 換気が不十分の場合は、酸素不足の原因になります。



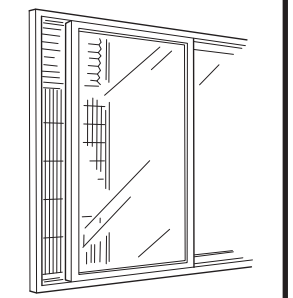
指示

運転中は、必ずエアコン背面の窓やアルミ戸を開ける。

- 異常や故障(異常音や機能を損なう)の原因になります。
- 温風で窓ガラス破損の原因になることがあります。



指示



！ 注意

豪雨や台風の際は、運転を停止して窓を閉める。

- 室内に浸水して、家財などを濡らす原因になることがあります。



長期使用で傷んだままの取付枠などで使用しない。

- 本体落下につながり、ケガなどの原因になることがあります。



食品・動植物・精密機器・美術品の保存など特殊用途には使用しない。

- 食品の品質低下などの原因になることがあります。



動植物に直接風が当たる場所には設置しない。

- 動植物に悪影響を及ぼすおそれがあります。



取り外すときは傾けない。

- 内部にたまっている水が雫化して家財などを濡らす原因になります。



スプレー（殺虫剤・整髪料・掃除用具など）をかけない。また、油や薬品のかかる場所では使用しない。

- 樹脂や塗装部分に変質したり、破損するおそれがあります。



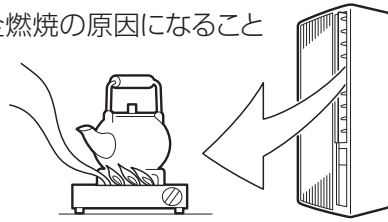
本体やコードなどにぶら下らない。

- 落下によりケガをするおそれがあります。また、コードが傷み、火災の原因になります。



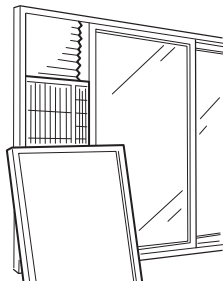
エアコンの風が直接当たるところに燃焼器具を置かない。

- 燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。



室外側の吸入口・吹出口はふさがない。

- エアコンの放熱をさまたげると、異常や故障の原因になります。
- 温風で窓ガラス破損の原因になることがあります。

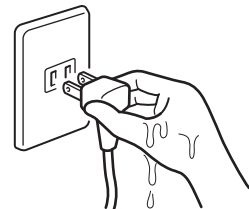


お手入れの際は電源プラグをコンセントより抜いておく。また、ぬれた手で抜き差ししない。

- 感電の原因になります。



ぬれ手禁止



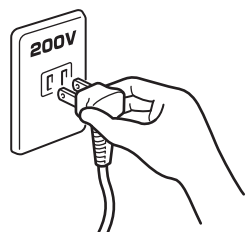
電源プラグを抜くときは、コードを持たずにプラグを持って抜く。

- コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショート・火災の原因になります。



交流100V以外では、使用しない。

- 火災の原因となります。



長期間で使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントより抜く。

- ホコリがたまって発熱・発火の原因になることがあります。



プラグを抜く

取り付けについてのご注意

！ 警告

取り付けは取付工事説明書に従って確実に行う。

- 取り付けが不完全な場合は、水漏れ、感電、火災、本体落下になる原因になります。



エアコンを移動設置する場合は、取付工事説明書に従って確実に行う。

- 取り付けに不備があると、水漏れ、感電、火災、本体落下によるケガなどの原因になります。



電気工事が必要な場合はお買上げの販売店または専門業者に依頼する。

- 配線等に不備があると漏電や火災の原因になります。



取り付けは、重量に耐えられるところに説明書通りに行う。

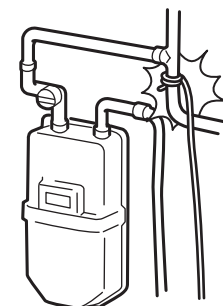
- 取り付けに不備があると、本体の落下によりケガの原因になります。



！ 注意

アース工事は必ず行う。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しない。

- アースが不完全の場合は、感電の原因になることがあります。



可燃性ガスの漏れるおそれのある場所への設置は行わない。

- 万一ガスが漏れて本体の周囲にたまると、発火の原因になることがあります。



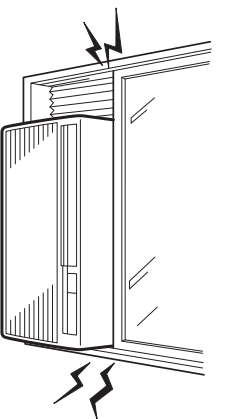
設置場所によっては漏電しゃ断器の取り付けが必要です。お買上げの販売店または専門業者に依頼してください。

- 漏電しゃ断器が取り付けられていないと感電の原因になります。



エアコンの取り付けは十分強度のあるところを選ぶ。

- 落下によりケガをするおそれがあります。



取付枠のパッキンやシールは確実に行う。

- 不確実な場合は、室内に浸水し、家財などを濡らす原因になることがあります。



設置について

取り付け場所について

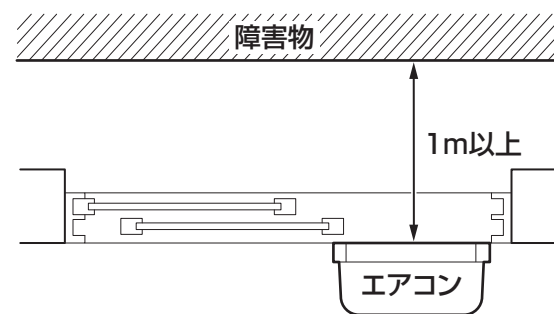
- エアコンに直射日光が当たるような場所には取り付けないでください。気温以上にエアコン内部温度が上昇することにより、安全装置が働き冷房運転を停止することがあります。また、室外側の吸い込み空気温度が高いと冷房効果が低くなります。
- 工場・海岸・温泉地帯など、特殊な場所で使用されますと故障の原因になることがあります。詳しくは、販売店にご相談ください。
- プロパン、アセチレンなど、可燃性ガスが漏れるおそれのある場所には取り付けないでください。
- 室内側は、吸入口、吹出口の近くに空気の流れをさまたげる障害物がなく、部屋全体に冷気が行き渡る場所に取り付けてください。
- 動植物に直接風があたる場所には取り付けないでください。
- エアコンから、テレビやラジオなどの電子機器を1m以上離してください。映像の乱れや、雑音が入ることがあります。
- 業務用としての使用および車両・船舶など移動するものなどには、取り付けないでください。

騒音にもご配慮を

■次のような場所をお選びください。

- 取り付けにあたっては、エアコンの重量に十分耐え、騒音や振動が増大しないような場所。
- エアコンの室外吹出口からの温風や騒音が、隣家の迷惑にならないような場所。

- エアコンを使用中に異常音がする場合などは、お買上げの販売店にご相談ください。



エアコンの室外吹出口の近くに物を置かないでください。
●騒音増大や機能低下の原因になります。

電気工事について

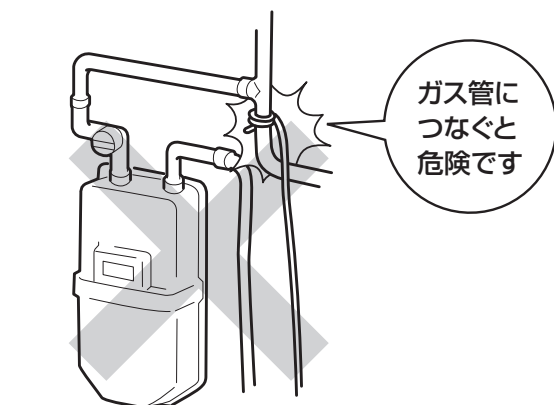
⚠ 警告

湿気の多いところや水気のあるところで使う場合は、アースおよび漏電しゃ断器を取り付ける
●故障や漏電のとき、感電するおそれがあります。



次のところにはアース線を接続しないでください。

- ガス管…爆発や引火の危険性があります。
- 水道管…プラスチックの部分があり、アース効果がありません。
- 避雷針・電話のアース線…落雷のときに大電流が流れ危険です。



※電気工事、アース工事には資格が必要です。
詳しくは、お買上げの販売店にご相談ください。

知っておいていただきたいこと

エアコンの運転条件

冷房運転	外気の温度 約21℃以上 43℃以下
	部屋の温度 約21℃以上 32℃以下
	部屋の湿度 80%以下
ドライ運転	80%をこえた状態で長時間運転するとエアコンの表面に露が付き、滴下することがあります。

※左記以外の条件で長時間運転されますと保護装置が働き、運転できないことがあります。

※冷房、ドライ運転の場合、部屋の温度が低いとき熱交換器に霜が付くことがあります。また、霜を溶かすために自動的に、約3分間送風運転に切り換わることがあります。

次のような現象は、製品の異常や故障ではありません

■保護装置について

温度調節などの操作をして、冷房運転をいったん停止させたときに、保護装置が働きすぐに冷房運転をしないことがあります。しばらくすると自動的に冷房運転をはじめます。

■露(つゆ)について

部屋の湿度が連続して80%以上あるときに、長時間にわたって冷房運転していると、冷風吹出口付近などに露が付き、落ちることがあります。

■霧(きり)について

冷房運転中に吹出口から霧(煙のように見える)が出たようになることがあります。これは、吹き出した冷風で部屋の空気が冷やされて霧状に見えるためで、故障ではありません。

■ニオイについて

部屋のニオイ、化粧品、汗、たばこなどのニオイがエアコンに付着し、吹き出す風がおうことがあります。

■音について

- 運転開始直後、および停止後に『シュルシュル』という音や、運転中に水の流れるような音がすることがあります。これらの音は冷媒が流れる音です。
- 運転中にエアコンから『ピシッ』という小さな音がすることがありますが、これはエアコンが冷やされ、収縮するために発生する音です。
- 運転中に『シャワシャワ』という水をかき上げるような音がすることがありますが、これはエアコン内部でドレン水を蒸発処理している音です。

ノンドレン機構について

- このエアコンは冷房運転時のドレン(除湿)水を内部で蒸発させ機外に出さない構造になっておりますが、特に湿度が高い場合(80%以上)にドレン水が背面ドレン排水口から機外にあふれる場合があります。

3分間保護機能

- 冷房運転を停止してすぐに再開しても、エアコンにむりがかからないように保護装置がついています。約3分間送風運転を続けたあと、自動的に冷房運転に切り換わります。

停電について

- 運転中停電した場合は、運転が停止します。『運転／停止』ボタンを押して運転を再開してください。この場合、運転モードは「自動」になります。

運転前の準備

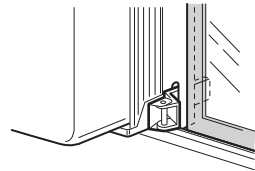
エアコンを運転する前に

窓や網戸を開ける

室外側への放熱のため、エアコン裏側の窓や網戸を開けてください。吸込口・吹出口がふさがれているとエアコンの機能が低下したり、保護装置などが動き運転できないことがあります。特にすだれなどで放熱を妨げていないか確認してください。

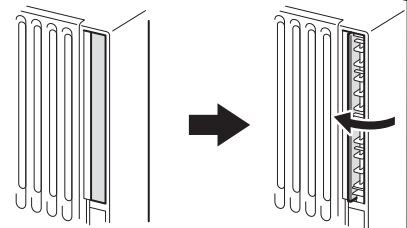
窓を窓ストッパーまで閉める

窓ストッパーを外側に出して、窓を窓ストッパーにあたるまでゆっくりと閉めてください。



ルーバーを開ける

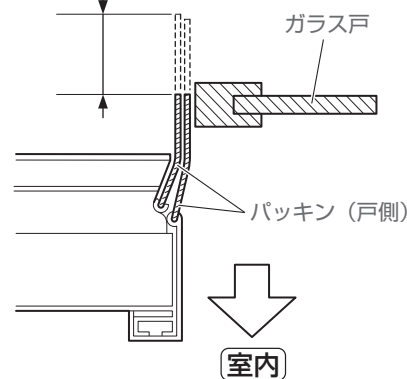
吹出口のルーバーを正面の位置まで開けてください。



パッキンの確認

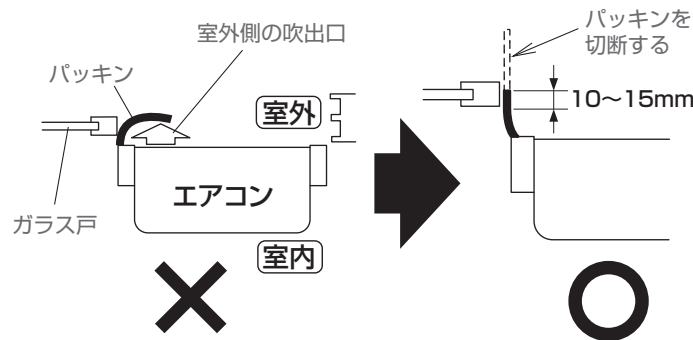
戸側のパッキンがガラス戸よりはみ出している場合は、パッキンを切断してください。

パッキンを切断する



右側取り付けの場合

パッキンがエアコンの室外側の吹出口をふさいでいる場合は、必ずパッキンを切断してください。エアコンの吹出口をふさぐと運転できない場合があります。また、温風で窓ガラス破損の原因になることがあります。



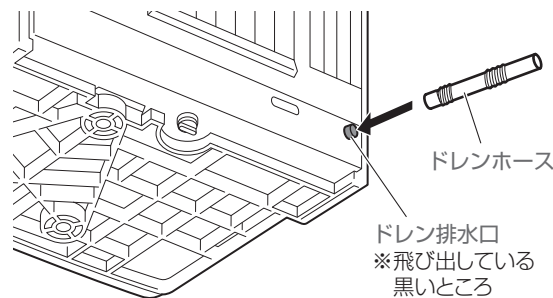
ドレンホースの取付け

このエアコンは冷房運転時のドレン(除湿)水を内部で蒸発させ機外に出さない構造になっておりますので排水処理の必要はありませんが、特に湿度が高い場合(80%以上)にドレン水が背面のドレン排水口から室外にあふれる場合がありますので、設置時には必ず、背面のドレン排水口に付属のドレンホースを取り付けてください。

■ご注意

下記の場合には、室内に水漏れが発生する可能性がありますので、ご注意ください。

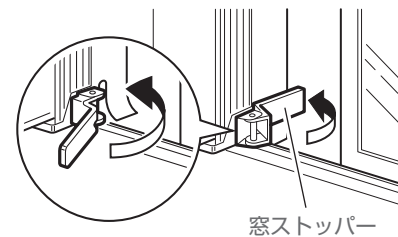
- ドレンホースは、ドレン排水口の根元までさし込んでご使用ください。
- エアコン本体を取付枠に取り付けたあと、ドレンホースは必ず先下がりの勾配になるようにしてください。また、先端が水につからないようにしてください。同時に、取付け枠自体が前側(室内側)に傾いていないことをご確認ください。
- 窓を閉める際には、必ずドレンホースを窓の室内側サッシ部に入れてください。
- 室外の風の影響で、ドレン水が室内側に吹き込むことがありますのでご注意ください。
- 木製窓へ本体を取付けた際には、ドレン水が木製窓にかからないようにドレンホースを設置ください。



窓ストッパーの使い方

■エアコンを運転するとき

1 窓ストッパーを出す



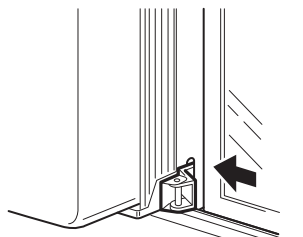
窓ストッパーを矢印方向に回し、室外側に出します。

2 戸側パッキンを窓ストッパーの外側へ出す



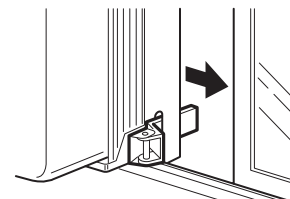
切り込み部から外側にかぶせます。

3 窓を窓ストッパーの位置まで閉める



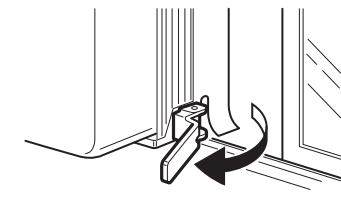
■エアコンを運転停止したとき

1 運転を停止し、ガラス戸を開ける



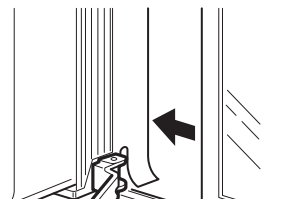
エアコン側のガラス戸を開けます。

2 窓ストッパーを入れる



窓ストッパーを戸側パッキンから外し、矢印方向に回して室内側に入れます。

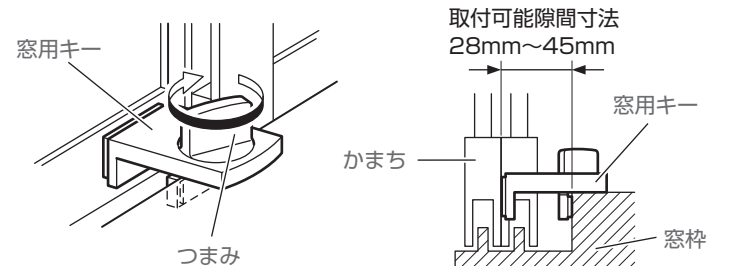
3 窓を閉める



窓用キーの使い方

窓枠または水かえし桟と、かまちの間に窓用キーを差し込み、つまみを右に回して固定してください。

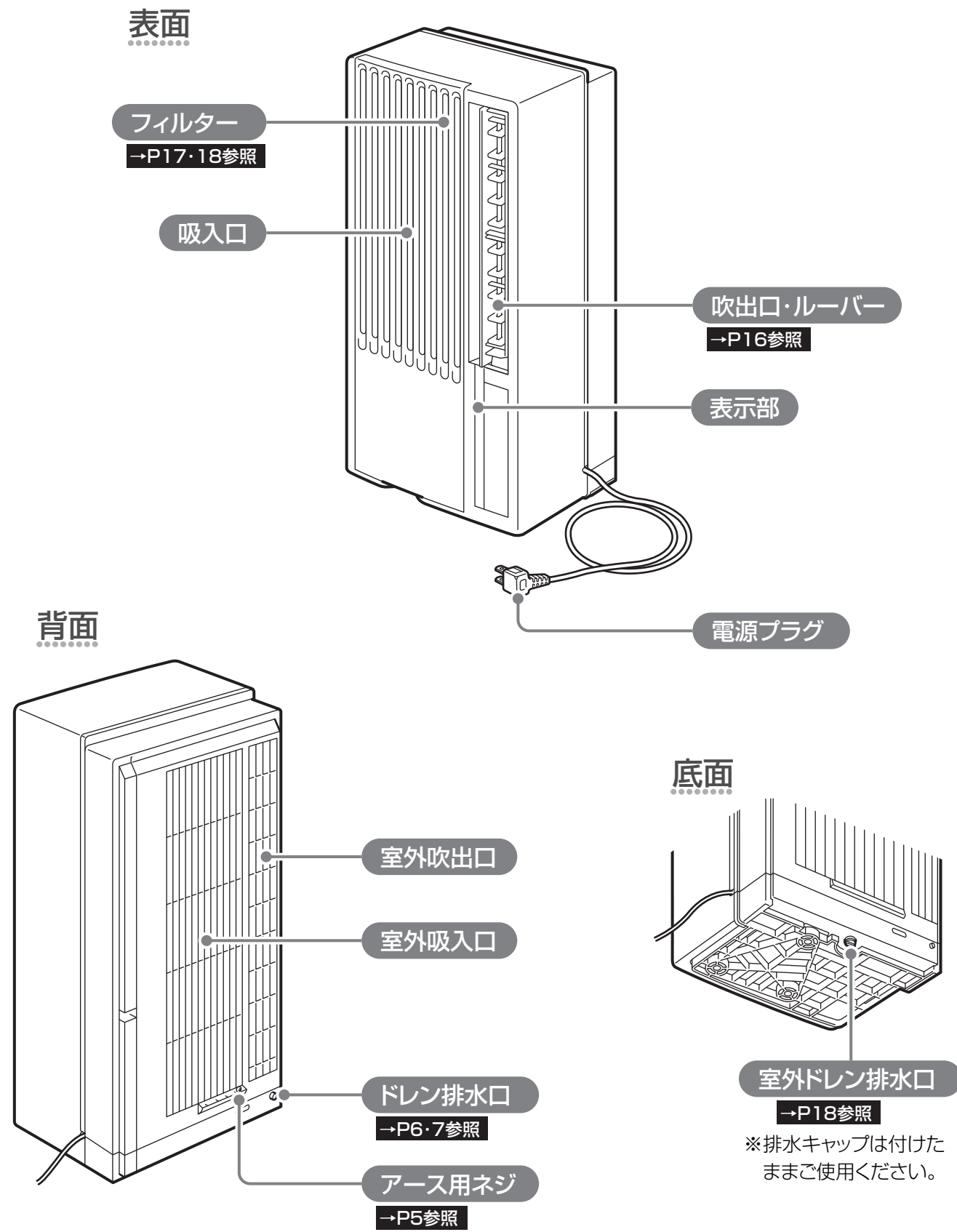
- サッシの形状によって取り付けできない場合があります。(右図参照)
- つまみを強く回しすぎるとサッシを破損するおそれがありますのでご注意ください。
- 窓用キーは、エアコン運転中の戸締まりを補助するための鍵です。お出かけのときは、必ず窓用キーを取り外し、ガラス戸を閉めて窓の鍵をかけてください。



各部のなまえ

本体

※図はイメージです。製品とは、若干異なることがあります。



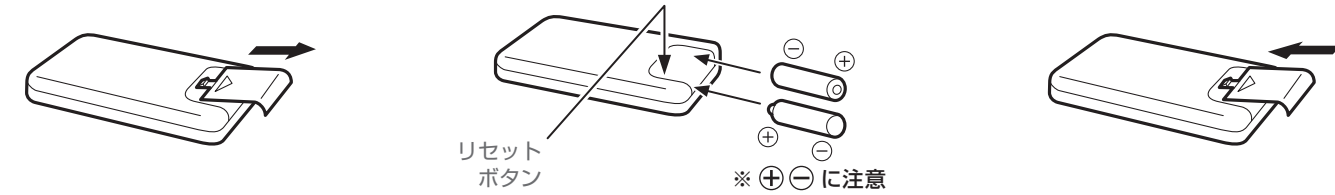
付属品

リモコン	1
単4形乾電池(動作確認用)	2

●具体的な部品をご確認し、「標準取付枠取付工事説明書」をご参照ください。

リモコンの準備と使いかた

- ①カバーを外します。 ②電池(単4形2本)を正しく入れます。 ③カバーを取り付けます。



- リモコンに電池が正しく入ると表示面に3秒間すべての表示がされます。
- 表示部が正しく表示されない場合、またはリモコンが正しく信号を発信しない場合は、電池部付近にあるリセットボタンを先の細いもので押してください。
- リモコンの信号発信部を本体受信部に向けて操作してください。
- リモコンで操作できる距離は本体受信部の正面で約6mです。
- 信号発信部と本体受信部との間に信号をさえぎるものがあると動作しない場合があります。

■ご注意

- 電子瞬時点灯方式またはインバーター方式の蛍光灯のあるお部屋では、リモコンの信号を受け付けられないことがあります。このようなときは、お買上げの販売店にご相談ください。
- 電池の寿命は約1年です。電池切れが近づくと表示の文字が薄くなってきますので早めに交換してください。(付属の電池は動作確認用ですので、1年未満でも消耗することがあります。)
- 電池の ⊕ ⊖ をリモコンの表示に合わせて正しく入れてください。
- 電池の交換は2本同時に新しい物を使用してください。
- 種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。
- 電池は、使い方を誤ると電池の液漏れで製品が腐食したり、電池が破裂するおそれがあります。
- 電池は、充電・ショート・分解・加熱しないでください。
- リモコンは投げたり、落としたり、水をかけたりしないでください。
- 充電式電池は、寸法・形状・性能の一部が異なりますので使用しないでください。
- 長期間ご使用されない場合は、電池を取り出してください。

リモコン

信号発信部
信号を発信します。

発信表示

ボタンを押し、信号を発信したときに点灯します。

設定温度表示

設定温度を表示します。

タイマー表示

設定されているタイマーを矢印でお知らせします。

タイマー時間表示

タイマー設定時間を表示します。

運転モード表示

設定されている運転モードを矢印でお知らせします。

風量表示

設定されている風量を矢印でお知らせします。

マイナスイオンボタン

押すとマイナスイオンが出ます。
もう一度押すとマイナスイオンが停止します。

運転入／切ボタン

押すと運転し、もう一度押すと停止します。

温度設定ボタン

△または▽のボタンで温度の設定を行います。
●温度設定……16～30℃の範囲で設定することができます。

タイマーボタン

押すごとにタイマーモードの切り換えを行います。
●おやすみタイマー:おやすみタイマーを設定すると、時間の経過にともない自動的に設定した温度より少し高い設定温度で運転します。
●切タイマー :自動的に運転を停止させることができます。
●入タイマー :自動的に運転を開始させることができます。

おやすみタイマー → 切タイマー → 入タイマー → 取消

タイマー時間設定ボタン

△または▽のボタンでタイマー時間の設定を行います。
1～12時間の範囲で設定することができます。
1⇐2⇐3⇐4⇐ …… ⇐9⇐10⇐11⇐12

モード切換ボタン

押すごとにモードの切り換えを行います。
自動 → 冷房 → ドライ → 送風

※保護機能の働きによりモードを切り換えても、すぐに冷房運転を開始しない場合があります。(P6 参照)

風量切換ボタン

押すごとにモードの切り換えを行います。
自動 → 強 → 弱

※ドライ運転時の風量は『弱』です。(リモコンでは風量の操作が可能ですが、設定を切り換えることはできません。)
※送風運転時は自動風量の選択はできません。

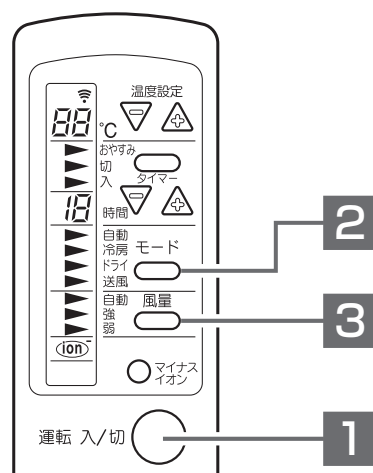
使いかた

(本機ではリモコンによる操作が主体となります)



運転中は必ずエアコン背面の窓や網戸を開けてください。
●異常や故障(異常音や機能を損なう)の原因になります。

自動運転



運転操作は、次のように行ってください。

- 1 運転 入/切ボタンを押す。
本体表示部の電源ランプが点灯し、運転を開始します。
- 2 モード切換ボタンを押して『自動』に設定する。
- 3 自動運転では温度表示は表示されません。
※自動運転では温度設定はできません。
- 3 風量切換ボタンでお好みの風量を設定する。

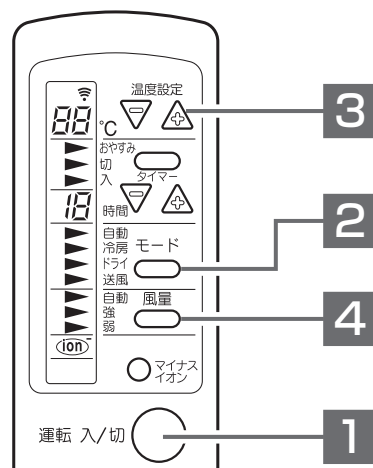
●運転を停止するときはもう一度『運転 入/切』ボタンを押してください。

自動運転のしくみ

- 運転開始時の室内温度に応じて、冷房・ドライ・送風のいずれかを自動的に選びます。
(室温が変化しても運転の内容は変わりません)
- 運転の種類がお好みに合わない場合は、運転モードボタンを押して冷房・ドライ・送風運転に切換えてください。
- 自動運転モードでは、温度表示は表示されません。

室温の目安	運転の内容
25℃以上	冷 房
22℃以上25℃未満	ドライ
22℃未満	送 風

冷房運転



運転操作は、次のように行ってください。

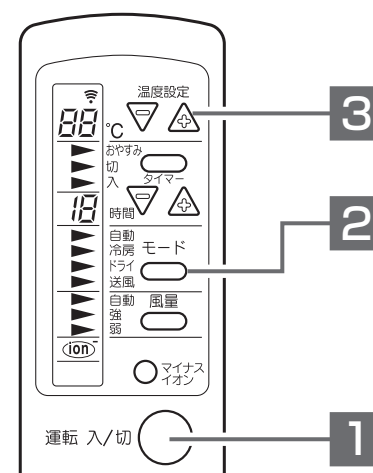
- 1 運転 入/切ボタンを押す。
本体表示部の電源ランプが点灯し、運転を開始します。
- 2 モード切換ボタンを押して『冷房』に設定する。
- 3 温度設定ボタンでお好みの温度を設定する。
- 4 風量切換ボタンでお好みの風量を設定する。

●運転を停止するときはもう一度『運転 入/切』ボタンを押してください。



運転中は必ずエアコン背面の窓や網戸を開けてください。
●異常や故障(異常音や機能を損なう)の原因になります。

ドライ運転



運転操作は、次のように行ってください。

- 1 運転 入/切ボタンを押す。
本体表示部の電源ランプが点灯し、運転を開始します。
- 2 モード切換ボタンを押して『ドライ』に設定する。
- 3 温度設定ボタンでお好みの温度を設定する。

●運転を停止するときはもう一度『運転 入/切』ボタンを押してください。

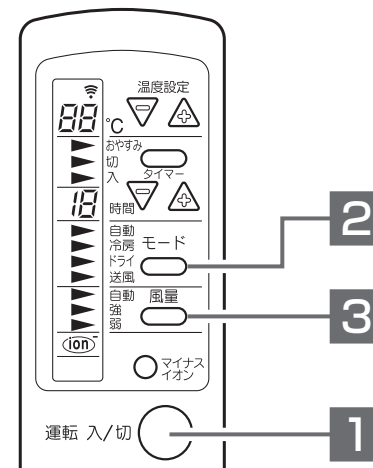
※ドライ運転時の風量は『弱』です。(リモコンでは風量の操作が可能ですが、設定を切り換えることはできません。)

ドライ運転のしくみ

- マイコン自動制御により室温をあまり下げずに湿気をとることができます。
- 室温が設定温度より2℃以上高い場合
→連続運転をおこないます。
- 室温が設定温度から+2℃までの場合
→コンプレッサーは、間けつ運転をおこないます。

室 温	ドライ運転の内容
設定温度より2℃以上高い場合	連続運転
設定温度から+2℃までの場合	6分運転、4分停止を繰り返す
設定温度以下の場合	送風運転

送風運転



運転操作は、次のように行ってください。

- 1 運転 入/切ボタンを押す。
本体表示部の電源ランプが点灯し、運転を開始します。
- 2 モード切換ボタンを押して『送風』に設定する。
- 3 風量切換ボタンでお好みの風量を設定する。

●運転を停止するときはもう一度『運転 入/切』ボタンを押してください。

※温度設定、自動風量は使用できません。



運転中は必ずエアコン背面の窓や網戸を開けてください。
●異常や故障(異常音や機能を損なう)の原因になります。

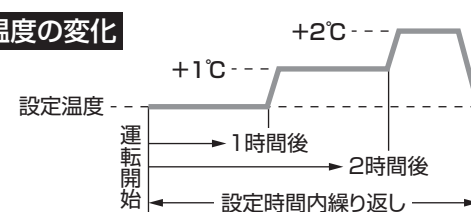
タイマー運転

おやすみタイマー

■おやすみタイマーは、時間経過にともない自動的に設定した温度より少し高い温度設定で運転し、冷やしすぎを防ぎ、おやすみをさらに快適にし、同時に電気代の節約ができます。

- おやすみタイマー運転は、室温を1時間後に設定温度より1℃、2時間後に2℃高い温度に上昇させ冷えすぎを防ぎます。その後再び室温が設定温度に戻ると運転を停止し、睡眠に適した温度に室温を保つように運転を繰り返し、設定時間経過後運転を停止します。
- おやすみタイマーの設定時間は8時間です。設定時間の変更はできません。

温度の変化



入タイマー(停止→運転)

お望みの時間に運転を開始させたいときに…

- 入タイマーを設定すると本体表示部の電源ランプが消灯し、タイマーランプが点滅します。設定時間がくると電源ランプが点灯して運転を開始し、タイマーランプが消灯します。

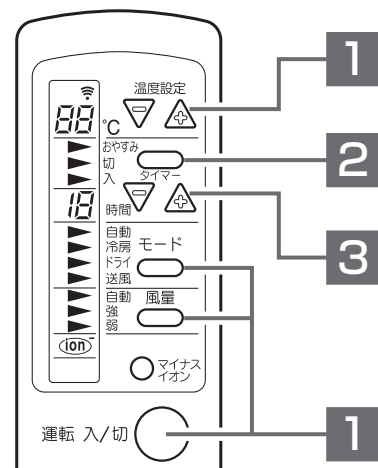
切タイマー(運転→停止)

お望みの時間に運転を停止させたいときに…

- 切タイマーを設定すると本体表示部のタイマーランプが点滅します。設定時間がくると運転を停止し、タイマーランプが消灯します。

運転操作は、次のように行ってください。

- 1 運転を開始し、お好みの状態に設定してください。
- 2 タイマーボタンを押して、お望みのタイマーを設定する。
本体表示部のタイマーランプが点滅します。
- 3 タイマー時間設定ボタンを押して、お望みの時間をセットする。
1時間間隔で1～12時間後まで設定することができます。

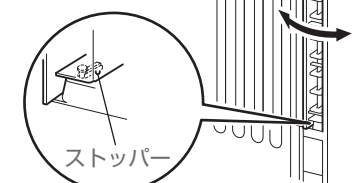


- ドライ運転および送風運転時はおやすみタイマーは使用できません。
- おやすみタイマーの残り時間の確認はできません。
- 入タイマーと切タイマーは同時に予約できません。
- タイマー運転中に「運転 入/切」ボタンを押すと、タイマー予約は取り消されます。

風向き調節の仕方 お好みに合わせて風説向きをルーバーで調節してください。

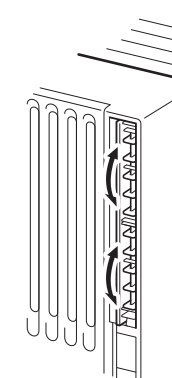
■左右ルーバー

- 左側全開から右側ストッパー部(右に回したときに軽くあたる場所)までの範囲で調整してください。



■上下ルーバー

- 通常は水平または少し上向きにしてください。



- ルーバーは必ず開けて使用してください。また上下ルーバーを長時間にわたって下向きにしないでください。吹出口が結露することがあります。
- エアコン内部はファンが高速回転しています。ルーバーを調整する際には、奥の方まで指を入れないようご注意ください。

上手にお使いいただくために

電気を節約し、快適にお過ごしいただくために次のようにお使いください。

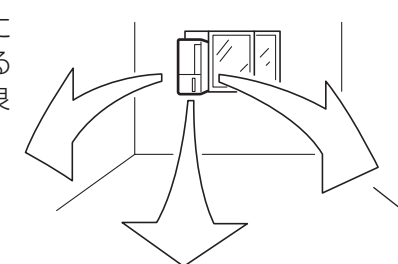
■室内温度は適温に…

- 室内と室外の温度の差はほぼ5℃以内が適温です。
- 冷やしすぎは健康に良くありませんし、電気のムダ使いになります。
- 室温を1℃上げると、約10%の電力が節約できます。



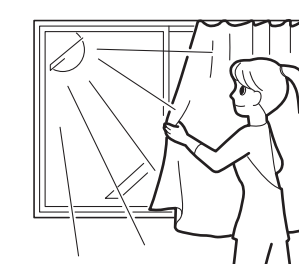
■風向調節で風がうまくいきわたるように

- 長時間、お肌に直接風を当てるのは、身体に良くありません。



■直射日光やすきま風を入れないように

- 直射日光はカーテンやブラインドでさえぎるようにすると省エネ効果が上がります。窓や出入口は必要時以外は開けないようにしましょう。



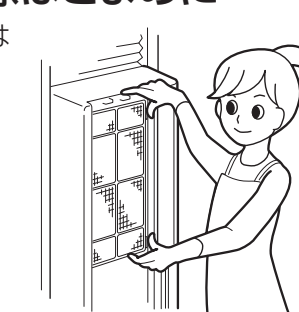
■タイマーの有効利用を

- 必要な時間だけ運転するようにしましょう。



■フィルターの掃除はこまめに

- フィルターの目詰まりは冷房効果を弱めます。



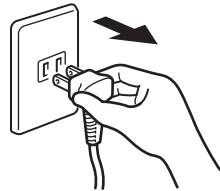
お手入れについて



プラグを
抜く

お手入れの際は電源プラグをコンセントより抜いてください。
また、ぬれた手で抜き差ししないでください。

●感電のおそれがあります。



本体のお手入れ



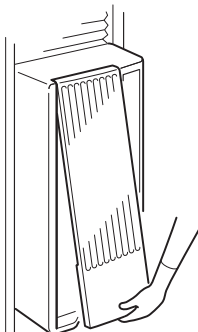
直接水をかけて掃除することは、
絶対にしないでください。

●感電のおそれがあります。



■パネルの掃除

長い間で使用になると、パネル表面にホコリなどが付着することがあります。パネルの汚れが気になりましたら、取り外して水洗いしてください。



■揮発性のものは使わない

揮発性のもの(シンナー・ベンジン・みがき粉・化学ぞうきんなど)を使用すると、変形や割れが発生することがあります。



■40℃未満のお湯で

やわらかい布でから拭きをしてください。
汚れがひどい場合は、40℃未満のお湯か水で、よくしぼって拭いてください。40℃以上のお湯を使うと変形することがあります。

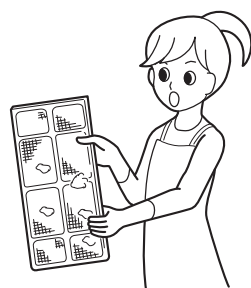
■電源プラグの掃除

長い間で使用になると、電源プラグとコンセントの間にホコリや水分が付着することがありますので差し込みプラグを抜き、乾いた布で拭き取ってからご使用ください。

フィルターのお手入れ

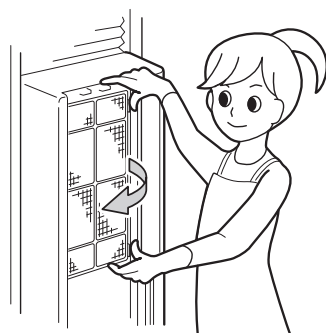
■2週間に一度はお手入れを

フィルターにホコリが詰まると風量が減少し、冷房能力が低下します。また、ラジエーター部が氷結し水漏れの原因になります。



■フィルターの取り出し

ツマミを持ち矢印の方向に外してください。



■フィルターの掃除

掃除機を使用するか、軽くたたいてください。汚れのひどい場合は、中性洗剤を溶かしたぬるま湯か水で洗うと効果があります。

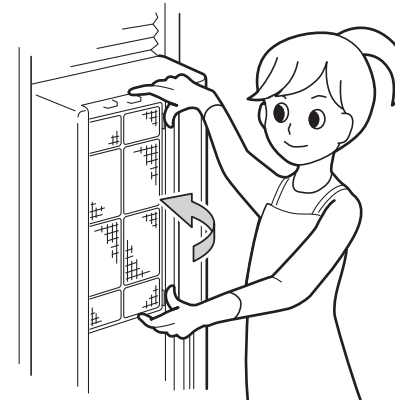
洗ったあとは、よくすすぎ日陰で乾かしてから元どおり取り付けてください。



シーズン前の点検

■フィルターが入ってますか？

フィルターを入れないで運転すると、エアコン内部が汚れ、故障の原因になります。



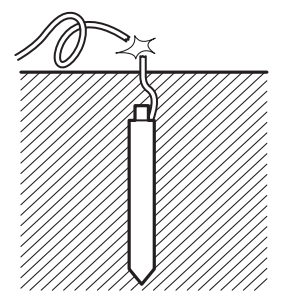
■室内・室外の吸入口や吹出口をふさいでいませんか？

異常や故障の原因になります。
温風で窓ガラス破損の原因になることがあります。



■アース線がはずれていませんか？

アース線が断線したり、はずれていないか確認してください。

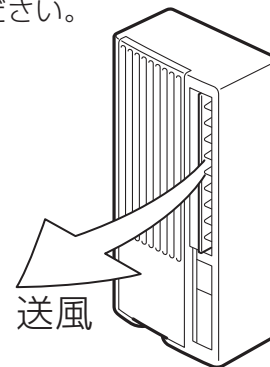


※長い間お使いにならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

シーズン後の点検

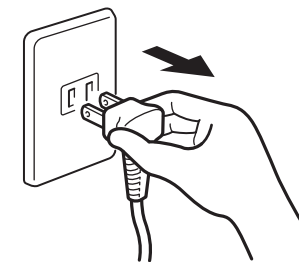
■送風運転

内部をよく乾燥させるために、晴れた日に半日ほど送風運転をしてください。



■電源プラグを抜く

運転を停止して、電源プラグを抜いてください。



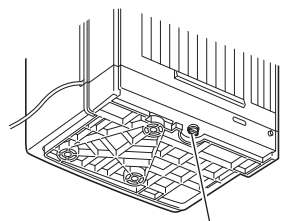
■フィルターの掃除

フィルターを掃除し、元どおり取り付けてください。
(→15ページ)



エアコンの取り外しについて

- エアコンを取り外す前には、エアコン底面の室外ドレン排水口から完全に水を抜き取ってください。
- エアコン及び取付枠を取り外すときは、取り付けと逆の手順で行ってください。詳しくは取付工事説明書をご覧ください。
- 取り外した部品は大切に保管してください。
- エアコンは横にした状態で、移動・保管しないでください。故障の原因になります。



室外ドレン排水口

点検整備について

ご使用状態によっても変わりますが、エアコンを数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。

点検整備は、お買上げの販売店にご相談ください。なお、この場合は実費をいただきます。

故障かな?と思ったら

下記の症状は故障ではありません。

こんなとき	おたしかめください
運転しない	●電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでいますか。 ●電源ヒューズ、漏電しゃ断器またはブレーカーが切れていませんか。 ●本体の受光部が汚れていませんか。 ●停電していませんか。 ●入タイマー予約中ではありませんか。 ●「運転/停止」ボタンを押しましたか。 ●リモコンの電池が入っていますか。
「シュー シュー」 「シャワシャワ」 という音がする	●冷房・ドライ運転開始時や運転中に「シュー シュー」と水の流れるような音がすることがあります。これは冷媒の流れる音です。 ●冷房・ドライ運転中に「シャワ シャワ」と音がすることがあります。これは内部で除湿水を自動的に処理している音です。
よく冷えない	●フィルターが汚れて、目づまりしていませんか。 ●お部屋の窓や戸が開いていませんか。 ●室内の人数が多すぎるのではありませんか。 ●お部屋に熱源が増えたり、台所の熱気などが入ってきていませんか。 ●温度設定が適正な温度になっていますか。 ●室内外の吸入口・吹出口をふさいでいませんか。 ●直射日光が部屋に差し込んでいませんか。 (カーテンやブラインドのご使用をおすすめします。) ●エアコン背面の窓やアミ戸が閉まったままになっていませんか。 ●冷房しながら換気を行っていませんか。 (室内の空気の汚れがなくなりましたら、換気をやめてください。) ●室内側の吸入口や吹出口の前に空気の流れをさまたげるような障害物はありますか。 ●風量が弱になっていませんか。 ●送風運転になっていませんか。 ●部屋のドアや窓が開いていませんか。 ●部屋の大きさが冷房面積の目安を超えていませんか。
リモコンが発信しない	●リモコンの発信部が汚れていいませんか。 ●電池切れではありませんか。 ●電池の ⊕ ⊖ が逆になっていませんか。 ●表示部が正しく表示されない場合、電池部付近にあるリセットボタンを先の細いもので押してください。
運転中に誤作動したとき	●カミナリ・カー無線などにより誤作動したときはコンセントから電源プラグを抜き、もう一度差込み直してから、運転/停止ボタンを押してください。

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

経年劣化(長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化)により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

【製造年】本体に西暦4桁で表示してあります

	【設計上の標準使用期間】 10年 設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・ケガなどの事故に至るおそれがあります。
---	--

<設計上の標準使用期間とは>

- 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件(下記)に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。
- 設計上の標準使用期間は、無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

■標準使用条件 日本工業規格 JIS C 9921-3による

環境条件	電源電圧	製品の定格電圧による
	周波数	50Hzおよび60Hz
	冷房室内温度	27℃(乾球温度)
	冷房室内湿度	47%(湿球温度 19℃)
	冷房室外温度	35℃(乾球温度)
	冷房室外湿度	40%(湿球温度 24℃)
	設置条件	製品の据付工事説明書による標準設置
負荷条件	住宅	木造平屋、南向き和室、居間
	部屋の広さ	製品能力に見合った広さの部屋(畳数)
想定時間	1年当たりの使用日数	東京モデル 冷房 6月2日から9月21日までの112日間
	1日当たりの使用時間	冷房 9h/日
	1年間の使用時間	冷房 1,008h/年

- 設置状況や環境、使用頻度が上記の条件と異なる場合、または、本来の使用目的以外でご使用された場合は、設計上の標準使用期間より短い期間で経年劣化による発火・ケガなどの事故に至るおそれがあります。

種 類		ウインド型・空冷式・冷房専用	
品 番		JA-16V	JA-18V
電 源		100V 50Hz-60Hz共用	
運 転 音		50Hz: 室内55dB、室外64dB	50Hz: 室内55dB、室外64dB
		60Hz: 室内57dB、室外64dB	60Hz: 室内57dB、室外64dB
外 形 寸 法		335 × 256 × 770 mm (幅 × 奥行き × 高さ)	335 × 256 × 770 mm (幅 × 奥行き × 高さ)
電 源 コ ー ド		1.9m	1.9m
質 量		23.0kg	23.0kg
冷 房	冷 房 能 力	50Hz: 1.40kW 60Hz: 1.60kW	50Hz: 1.63kW 60Hz: 1.90kW
	冷房面積の目安	50Hz: 鉄筋アパート 南向き洋室 10m ² (6畳) 木造 南向き和室 6m ² (4畳)	50Hz: 鉄筋アパート 南向き洋室 11m ² (7畳) 木造 南向き和室 7m ² (4.5畳)
		60Hz: 鉄筋アパート 南向き洋室 11m ² (7畳) 木造 南向き和室 7m ² (4.5畳)	60Hz: 鉄筋アパート 南向き洋室 12m ² (8畳) 木造 南向き和室 8m ² (5畳)
	通年エネルギー	50Hz: 2.4	50Hz: 2.4
	消 費 効 率	60Hz: 2.4	60Hz: 2.4
	消 費 電 力	50Hz: 525W	50Hz: 610W
		60Hz: 600W	60Hz: 710W

- この仕様値は、日本工業規格 JIS C 9612:2013 に基づいた数値です。
- 製品の外觀および仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- この製品は日本国内用に設計されていますので、日本国外では使用できません。FOR USE IN JAPAN ONLY.

■廃棄時にご注意ください

2001年4月より施行されている家電リサイクル法では、お客様がご使用済みのルームエアコンを廃棄する場合、収集・運搬料金と再商品化等の料金をお支払いいただき、対象品を販売店や市町村に適正に引き渡すことが求められています。

愛情点検



★長年ご使用のルームエアコンの点検を！

このような症状は
ありませんか？

- 電源コード、プラグが異常に熱い
- 電源コードに深いキズや変形がある
- 焦げくさいにおいがする
- 本体に触れるとビリビリと電気を感じる
- その他異常や故障がある



このような症状のときは、
ご使用を中止し、事故防止
のため電源プラグを抜い
て、必ず販売店に点検をご
依頼ください。

保証書（別添付）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りいただき、内容をよくお読みのと、大切に保存してください。

保証期間

お買い上げ日から本体1年間

（ただし、冷媒回路については、5年間です。）

修理を依頼されるとき

19ページの表に従ってご確認ください。それでも異常がある場合は、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。なお、製品修理以外の責任はご容赦ください。

保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。当社は、このルームエアコンの補修用性能部品を製造打切後9年保有しております。（注：補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
部品代	修理に使用した部品および補助材料代です。
出張料	お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

お客さまご相談窓口

■まずは、お買い上げの販売店へ…

家電商品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げの販売店へお申し出ください。

転居や贈答品でお困りの場合は、下記の相談窓口にお問い合わせください。

商品についての全般的なご相談

総合相談窓口：

固定電話からは  0120-865-812

携帯電話・PHSからは  0570-020-812（有料）

受付時間 365日 9:00～18:30

※FAXでご相談される場合

 0570-013-791（有料）

商品の修理サービスについてのご相談

修理相談窓口：

固定電話からは  0120-982-540

携帯電話・PHSからは  0570-010-540（有料）

受付時間 月曜日～金曜日 9:00～18:30
土曜・日曜・祝日 9:00～17:30

※上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますのでご了承ください。

■”お客さまご相談窓口”における個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けしたお客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理いたします。また、お客さまの同意がない限り第三者への開示は行いません。（業務委託の場合および法令に基づき、必要とされる場合を除く。）

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のためにハイアールジャパンセールス株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。